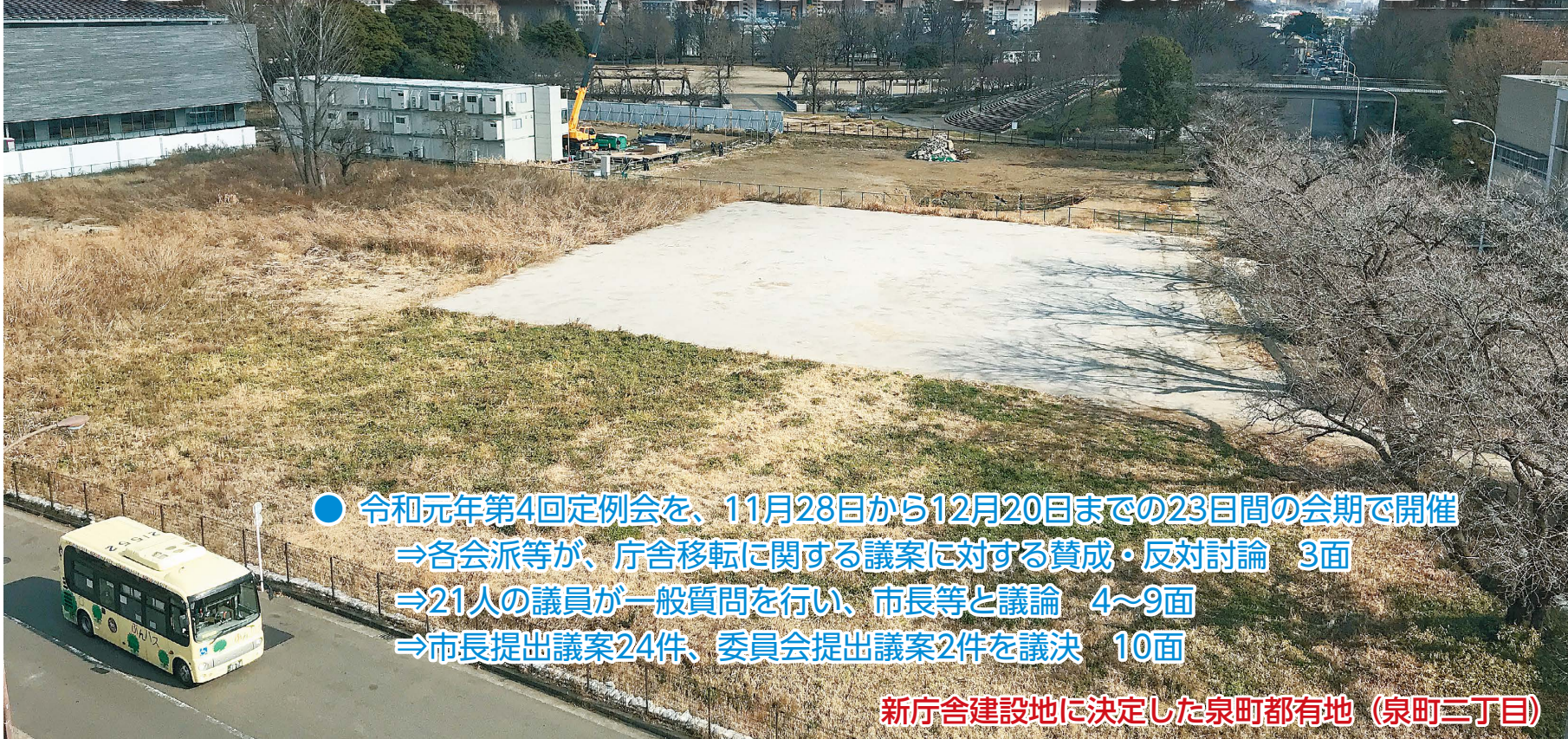




庁舎を泉町に移転する議案を 3分の2以上の特別多数議決で可決



- 令和元年第4回定例会を、11月28日から12月20日までの23日間の会期で開催
 - ⇒各会派等が、庁舎移転に関する議案に対する賛成・反対討論 3面
 - ⇒21人の議員が一般質問を行い、市長等と議論 4~9面
 - ⇒市長提出議案24件、委員会提出議案2件を議決 10面

新庁舎建設地に決定した泉町都有地（泉町二丁目）

佐渡市との 交流について



国分寺市議会では、令和元年10月17日から18日にかけて、姉妹都市の提携を結んでいる新潟県佐渡市を訪問し議会交流を行いました。

佐渡市とは、1200余年前に建立された武蔵国分寺と佐渡国分寺のとりもつ縁で、平成元年4月に旧・真野町と姉妹都市提携の盟約が結ばれ、佐渡市誕生後の平成17年2月に改めて姉妹都市提携を盟約しました。

今回、正副議長を含めた議員11人を派遣し、更なる相互理解を深めるための議会交流や、佐渡市の先進的な事業について視察研修を行いました。

〈議会交流〉

テーマ 「議会だよりの編集について」「議会活性化の取り組みについて」

両市における議会だよりの記事作成や編集方法について及び本会議・委員会の開催状況やライブ・録画配信などの現状と課題について、意見交換しました。

〈行政視察〉

テーマ 「レジ袋の有料化について」

事業概要や課題などの講義後、実際に現地の小売店を訪問し、お店の方のお話を伺いました。そのほか、佐渡金銀山ガイドダンス施設「きらりうむ佐渡」等も視察しました。



シリーズ 国分寺市議会⑩

特別多数議決とは

議会では、予算や条例などの議案は、出席議員の過半数により決定することが原則となっています。

しかし、住民への影響が特に大きい重要な案件の決定については、より慎重な判断が求められることから、地方自治法などに規定された要件での出席議員の同意が必要です。これを特別多数議決といいます。

国分寺市議会でも、先日行われました令和元年第4回定例会において、「国分寺市役所位置変更に関する条例について」が地方自治法第4条に該当し、特別多数議決により可決されました。

なお、過半数議決では、議長は表決で賛否を表さず、可否同数の場合に可否を決めます。しかし、特別多数議決では、可否同数がないため、議長は表決で賛否を表します。

◎今回の特別多数議決の要件等について

根拠条文等	内容	要件①	要件②
地方自治法第4条	地方公共団体の事務所の位置決定又は変更に関わる条例制定について	議員定数の半数以上の出席	議長を含めた出席議員の3分の2以上の同意

提案議案等 を問う

令和元年 第4回定例会 各委員会における質疑等【要旨】

各議案等の要旨や結果は、10面をご覧ください。

総務委員会

【議案の審査】

■議案第90号 国分寺市体育施設条例の一部を改正する条例について

Q 西元町のゲートボール場廃止に伴い、史跡地に暫定的に整備するゲートボール場はどのような整備が必要か。

A 可能な範囲で地面を転圧し、砂を敷く予定。トイレについては、史跡地内のため地面が掘れず、下水設備を設けることはできない。利用状況に応じて検討し対応を図っていきたい。

■議案第105号 動産の買入れについて

Q 消防ポンプ車の買い替えに伴い、維持費はどの程度になるか。

A 通常の車の維持費とさほど変わらないと考えている。

■議案第107号 国分寺市特別職の職員の常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例について

Q 東京都人事委員会勧告に準じた改定を行うものか。

A 市長、副市長、教育長の期末手当の支給月数について、国分寺市特別職報酬等審議会に諮問し、引き上げに関する答申を得られたため、改正するもの。

・議案第104号ほか2件の議案を審査

【報告事項】・戸倉野球場への防球ネット設置について など

厚生文教委員会

【議案の審査】

■議案第94号 国分寺市プレイステーション条例の一部を改正する条例について

Q プレイステーション移転後、現プレイステーションの地域での活動ができる場所等について、どのように検討しているか。

A 市民からもご意見をいただいております。公園や子ども関連の事業を行っている関係部署と、現在協議している。

■議案第99号 平成31年度国分寺市介護保険特別会計補正予算（第3号）

Q 保険者機能強化推進交付金（注）の制度について、見解は。

A 地域のニーズに応じた事業を展開し、その結果として、交付金が支給されればよいと考えている。

（注）高齢者の自立支援等に関する取り組みへの評価に応じた自治体への交付金

■議案第103号 指定管理者の指定について（プレイステーション）

Q 災害時の対応について、防災マニュアルをどう整備していくのか。また、日常の安全指導をしてほしい。

A 避難誘導や防災訓練の実施等も進めていきたい。また、安全管理の必要性も認識しているので、注意喚起等の対応をしていきたい。

・議案第87号ほか3件の議案を審査

【報告事項】・教育ビジョン（案）のパブリック・コメントの実施について など

建設環境委員会

【議案の審査】

■議案第100号 平成31年度国分寺市下水道事業特別会計補正予算（第2号）

Q 下水道事業の運営に関して、見直していく動きはあるか。

A ない。東京都から市へ情報提供があれば議会へ報告をしていく。

■議案第101号 立川市道路線の認定の承諾について

Q 該当路線の対象となる国分寺市民の方々への周知や対応は。

A 立川市の事業となるため、立川市が説明会の開催等を行う予定である。国分寺市も連携して対応していきたい。

■議案第102号 市道路線の一部廃止について

Q 市内に現存する現状公共の用に供していない市道路線について今後どのようにしていくのか。

A 引き続き、売り払い等を行っていく。

・議案第101、102号については、審査に先立ち現地視察を行った。

そのほか議案第93号を審査

【報告事項】・ペットボトルの戸別収集について、西町三丁目交差点の改良について など

補正予算審査特別委員会

【議案の審査】

■議案第86号 専決処分について

Q 国民健康保険税の還付金が不足した理由は。

A 当初の見込みより遡りによる資格喪失者が多かったため。

■議案第95号 平成31年度国分寺市一般会計補正予算（第6号）

Q けやき運動場人工芝化及びバリアフリー化等改修工事の追加工事の主なものは。

A 土砂の流入等を防ぐステンレスフラットバーの設置を、台風19号を受けて追加判断した。

■議案第96号 平成31年度国分寺市一般会計補正予算（第7号）

Q 令和2年度開所予定の民設民営保育所の整備状況は。

A 4月に国分寺駅北口と国立駅北口に1園ずつ開所予定。

Q 文化財の出土品の保管場所を今後どのように考えるか。

A 市内に限らず広く借用について検討していく。

■議案第108号 平成31年度国分寺市一般会計補正予算（第8号）

Q 人事考課が反映されるタイミングは。

A 6月期と12月期の勤勉手当に反映される。

国分寺駅周辺整備特別委員会

【議案の審査】

■議案第97号 平成31年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算（第2号）

Q 当初予算の編成時と実際の地方債の利率に差がある理由は。

A 当初予算の編成時は、国債の利払いの前提となる想定利率で見積もっているが、実際は、毎年5月に通知される利率で借り入れるため。

Q 今後、新庁舎建設を初め、新たに大きな金額の起債が予定されているので、最大限、低利率で借りていくという考え方を堅持してほしい。

A 地方債を少しでも有利な条件で借りることが必要だと認識しており、当初予算の編成に当たり、財政課との確認、協議を行いたい。

【報告事項】

・国分寺駅北口交通広場について、国分寺駅北口地下自転車駐車場について

公共施設等総合管理特別委員会

【報告事項】

■報告事項1番 国分寺市学校施設長寿命化計画について

Q 修繕予定のない二中のプール付属舎の建物評価が、屋根・屋上の経年劣化によりD評価となっているが、使用について問題はないか。

A 屋根の部分的な老朽化であり、使用等は特に問題ないとする。

Q 学校施設の個別施設計画は、令和2年からスタートか。

A 令和2年3月に計画を策定し、その計画を目安に進めていきたい。

Q 施設における衛生管理面の整備等も計画に反映させてほしい。

A 財政状況等や現場の声なども勘案しながら進めていきたい。

■報告事項2番（仮称）国分寺市新庁舎整備基本計画について

Q 市民ワークショップは、様々なご意見が出ることを想定して開催してほしい。

A 市民利用を想定したスペース等の使い方だけでなく、新庁舎全般の様々な意見を受けとめ、基本計画案への反映を検討していきたい。

新庁舎建設地が決定しました

【経過】

9月13日に開催された公共施設等総合管理特別委員会において、市長より新庁舎建設候補地は「泉町都有地」が望ましい旨の所信表明があり、市議会ではその審査のため、令和元年第3回定例会で、議長以外の議員全員による「庁舎移転に関する特別委員会」（さの久美子委員長、吉田りゅうじ副委員長）を設置し、11月5日に委員会を開催しました。

今定例会では、市長より「議案第89号 国分寺市役所位置変更に関する条例について」が上程され、委員会で更なる審査が行われた後、12月20日の本会議において、各会派等から当該議案に対する賛成・反対の討論があり、その後に行われた特別多数議決の投票の結果、3分の2以上の賛成により可決されました。

このことにより、新庁舎の建設場所が「泉町都有地」に正式に決定しました。

【庁舎移転に関する特別委員会における質疑等】

Q 地方自治法第4条第2項の規定について、市の見解は。

A 条文における便利とは、位置や交通事情、防災性、利便性などであり、官公署とは、国や都の機関、郵便局、病院などが考えられる。

Q 市民説明会を実施した感想は。

A 市民との意見交換の重要性を再確認。様々なご意見があったが、防災の視点から泉町にとのご意見もいただいた。

Q 新庁舎建設に反対の市民に対する市の見解は。

A 分散庁舎により市民にご不便をかけている。また、災害の際、新庁舎が防災の拠点として果たすべき役割は非常に大きい。

Q 移転した場合、現有地の跡地活用に市民の意見を聞いてほしい。

A これまでと同様、地域の方々のご意見も聞きながら、老朽化した公共施設の再編、出先機関の設置、民間活力導入などを検討する。

Q 市長が説明会を実施したように、今後も丁寧な説明をしてほしい。

A ワークショップ等を開催して、考え方を説明していきたい。

【本会議における討論】（各会派等が一定のスペースで自由にまとめたものを討論した順番で掲載。無会派については文字数を人数で按分）

新庁舎は全市民の安心 安全の為早期建設を！



自由民主党市議団（賛成8名）

吉田りゅうじ

▼現庁舎は一刻も早く立て直すべき

現在の国分寺市庁舎は、旧本庁舎が耐震性に問題ありとのことから平成24年度に解体され仮庁舎として行政の機能が分散したまま現在に至っている。加えて、庁舎は災害時の災害対策拠点として従前以上の更なる機能強化が求められてきているなど建て替えは急務である。

▼市域全体に丁寧な情報公開・意見収集に努力
井澤市長が「建設候補地は泉町が望ましい」とする所信表明をし、市長出席による説明会を市内各地で開催するなど丁寧な情報公開・意見収集に努めたことは明らか。但し、市民の理解度は千差万別、市担当には更なる努力を求める。

▼建設地決定後は市民とワンチームで進めよ！

想定事業費は100億円を大きく超えるものであり、財政面から見ても庁舎建設資金積立基金の積み上げが順調に進んだとは言え、後世に残す形の借金も多くあるなど、建設地が決まった後も様々な懸案がある。議会としても議員それぞれの見識を持ってしっかり議論し乗り越えていくことが肝要、ワンチームで進めるべし！

「跡地活用」議論を 市民参加で、一刻も早く



国分寺政策市民フォーラム
（賛成5名）

星 いたろう

☆建設費・跡地活用に関する説明は不十分

・市民の税金を100億円以上投入するにも関わらず「基本構想」（2019年3月）より詳しい想定事業費が提示されることはなかった。賛否を決めるための十分な説明がされたとは言えない。

・多額の建設費が福祉等に与える影響を懸念する。これに対して「一般財源の10%以下に借金をおさめる」「市民生活に必要なものを削減しない」との答弁。しっかりと守っていただく。

・市の出先機関、恋ヶ窪公民館図書館、福祉センターが戸倉の跡地活用案として示された。施設の老朽化・バリアフリー化に対応するとの姿勢を評価する。ただし、施設の移転の有無については地域住民との今後の議論が必要。跡地活用については、早急かつ十分な期間をとって、市民や議会の議論を保障することを強く求める。

☆課題を提起したうえで、移転に同意する理由

①泉町都有地は建設期間が短い②現庁舎用地は、仮庁舎や駐車場の別敷地を確保しなければならない③業務と工事を同時に進める現庁舎用地は、安全対策費で建設費が上振れする可能性が高い。

市民への説明も議論も 不十分な議決に反対



日本共産党国分寺市議団
（反対3名）

中山 とう

市役所を移転するのであれば、第一に、積極的に合理的な理由が十分に明らかであり、第二に、住民の利害に関する点が特に大きいことからより丁寧な市民参加が議決の前提になる。

市長の「泉町が望ましい」との表明後、移転跡地の活用方針の説明や、市民意見の集約の努力をすべきであった。また、市は「優劣つけがたい」とした2つの候補地から絞り込むための専門部会を設置したが検討プロセスがほとんどない。これでは、スケジュールありき、泉町ありきだったと言わざるを得ない。

そのため、大災害時のリスクと想定される中央線での分断などに対する必要な検証をしていない。市長は「そのような大災害では広域連携に頼らざるを得ない」と答弁した。しかし、広域的な支援を受けられるまでに一人でも多くの市民の生命を救う対策は市の責務。防災を移転理由の一つにしなから、この点、市民に説明できる水準にないことを看過できない。

市民参加・庁内意思決定プロセスの不足など議決を判断する前提が欠けているため反対する。

財政負担を抑え 庁舎建設計画目標の達成を



公明党（賛成3名）

高橋りょう子

新庁舎建設にあたっては多額の予算執行が見込まれるが、公債費負担比率10%以下を維持し基金残高50億円を堅持する。今後の財政規律を示した事は評価する。今回泉町都有地を購入し新庁舎が建設できれば、その土地は将来への資産となり、又一定以上の規模である現有地はタネ地として公共施設のマネジメントが大きく前進し様々な可能性が広がる。防災機能の視点からは隣接する都立武蔵国分寺公園での広域避難、消防署本署の移転やいずみプラザに於ける医師会との連携が迅速に図られる等、市民の安全安心も確保できる。今後は泉町での新たな地域防災計画や業務執行の環境整備等体制の構築を望む。又現有地と各サービスコーナーの機能性アップや内容の充実により、市民サービスの確保と新庁舎へのアクセスの整備等の検討もお願いしたい。人口ビジョンでは令和12年から生産年齢人口が減少し少子高齢化は確実である。市が示した計画、掲げた目標達成は決して容易ではないが、油断なく慎重に取り組まれる事を強く求め本議案を賛成とする。

防災や環境に配慮した 庁舎建設は市民参加で



無会派（国分寺・生活者ネットワーク）
（賛成2名）

高瀬かおる

庁舎建設には多額な予算が必要だ。リサイクルセンター建設など他の事業も考慮し、市民生活の質を落とさない財政運営を求める。その上で①業務を行いながらの戸倉での建替えには、仮設庁舎用に代替地が必要で、工事車両の動線や市民の安全面も含めて難易度の高い工事になる。②都有地購入は庁舎建設用に限定され、跡地の活用方法によっては購入費軽減がある③都有地周辺には消防署など災害時に連携が必須の関係機関があり、通信機能が喪失しても連絡が取りやすい…など総合的に判断し「庁舎を移転し現庁舎跡地を老朽化した公共施設の再配置など新たなまちづくりの拠点として活性化すること」は、市全体のまちづくりからも有効と考える。

市役所移転には十分な 市民説明と合意形成を



無会派（反対1名）

木村 徳

市役所建替は必要と判断するが建設地は住民投票で判断すべきと選挙前から主張してきた。実施せずに市の地理的中心に近い現在地から移転をするならば、少なくとも市民理解を得るに十分な説明をすべきだった。しかし跡地利用や、泉町都有地の取得額をはじめとする財政支出額なども明らかにされず、本議案には反対する。



特別多数議決の記名投票の様子

市政を
問う

令和元年 第4回定例会 一般質問での質問・答弁【要旨】

一般質問を行った議員の順番で、各議員が一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。

台風19号等の暴風雨を防災の教訓とせよ！

▼自転車の危険について考える

【吉田】小金井警察によると自転車に関わる事故減らず、死者の多くはヘルメット未装着と聞く。ヘルメット購入費用の助成、自転車運転免許制度の確立、自転車保険加入促進を切望する。

【答】ヘルメット着用や安全運転の啓発活動を進めるなかで、より一層の安全意識強化を図っていく。来年、自転車損害賠償保険等への加入が都条例で義務化される。周知・啓発に努める。

【吉田】交通安全計画策定から約2年経過した。振り返りで更に市民の命に向き合って戴きたし。

【答】関係各所と連携し進めていく。

▼暴風雨災害マネジメントの早期策定を

【吉田】「暴風」イメージの台風15号では鉄塔の倒壊が目立った、市内総点検を実施せよ。

【答】市内には鉄塔15基、ゴルフ練習場2箇所あり、事業者の協力を得て安全策を確保する。

【吉田】「豪雨」イメージの台風19号では、市としては地震以外で初めて災害対策本部を設置し様々よく対応していたが、避難勧告、避難所対応等々にて市民の混乱が多く見られた。今後、ハザードマップの見直し、ホームページやSNSの有効活用を真剣に考え実行せよ。

国分寺市は暴風雨に対するリスクマネジメントが脆弱である。今年の災害を教訓にされたし。

【答】多くの市民にご協力戴き被害は最小限に

自由民主党市議団
吉田 りゅうじ



留まった反面、情報発信面で混乱を招いた点等々反省すべき事項、改善すべき事項が露見した。ご指摘のとおり、地域防災計画の風水害編は地震編に準ずるとなっており、詳細が定められていない。近年多発する大型台風やゲリラ豪雨等に向けた対策が今後必要であると認識しており、地域防災計画の早期見直しに着手する。

【吉田】

末筆ながら、本年の自然災害により亡くなられた方へ哀悼の意を表明すると共に、被災された多くの皆様へ心よりお見舞いを申し上げます。

誰もが安心して暮せる街づくりのために!!

1. 国3・4・11号線について

Q. 現在の進捗状況は？

建設環境部長) 関係権利者に対して物件調査を行っている。事業延長が720mに対し、2つの調査会社で対応。順次、個別に日程調整を行い、順調に調査をさせていただいていると伺っている。

Q. 今後の事業の見通しやスケジュールは？

A. 物件等の調査の進み具合によって、補償費の算定、権利者の方々との話し合いの後、合意いただければ契約という形になっていく。年度内に物件調査を一定程度完了させたいと考えていると伺っている。また、移転を要する方、建

てかえを要する方等においては生活再建を検討いただかねばならず、今後の見通しを立てるのが難しいが、事業認可期間の令和9年度までに整備がなされるよう、関係権利者のご理解、ご協力を得よう取り組むと伺っている。市としても、丁寧な対応が行われるよう東京都にお願いし、適宜連携を図って、早期に事業が推進するよう努めたい。

2. 防犯カメラについて

Q. 以前、市内で不法投棄があった際、防犯カメラのデータ提供を警察から求められたところ、提供を断られたという事案をもとに伺います。防犯カメラの設置目的は犯罪抑止のため

自由民主党市議団
小坂 みちよ



すが、もしなんらかの事件が起きた際には情報は警察に提出されると思いますが、その根拠は？

総務部長) 防犯カメラ設置及び運用に関する条例第7条第2項の第2号、法令に定めがあるときに根拠となる。例えば、裁判官が発布する令状に基づく場合、裁判所からの文書提出命令等が想定される。

その他 おたかの道湧水園、スポーツ振興、いずみホールの使用状況、PTA活動、空き家対策、ごみ屋敷等について質問。

災害情報伝達ツールに防災ラジオの導入を！

1. 安全・安心のまちづくりについて

(1) 災害時の情報伝達の課題はSNSを使わない市民への対策。皆が災害情報を共有できる仕組みが必要。防災行政無線が横入りできる「防災ラジオ」の導入を求める。市) FM波を利用するため、災害協定先のエフエムたちかわと協定内容変更等、検討していきたい。さの) 台風19号の対応として、市役所での電話対応は十分だったか。市) 回線がふさがることあった為、ダイヤルイン回線の増設を検討している。さの) 地域防災計画を市民に周知するために概要版を図書館などに配架すべき。市) 防災対応力の強化につながるため、公共施設に配架したい。

(2) 台風15号で液体ミルクを備蓄していた自治体で利便性が確認された。災害時に役立つ乳児用液体ミルクの備蓄を求める。市) 保存期間や保管場所などの諸課題を整理し、検討したい。

(3) コンビニエンスストアへのAED設置は今年度5台設置予定だが、進捗状況は。市) AEDの購入や覚書の締結に向けて早急に進めていく。

2. がん検診について

死亡率の一番高い部位は「肺」だが、肺がん検診の受診率が上がらない。現在でも特定健診と同時受診できるが、特定健診と肺がん検診がセットで当たり前という「オプトアウト方式」の導入の検討を求める。市) 医師会と相談の上、

公明党
さの 久美子



がん検診の効果的な実施にむけて検討したい。

3. 平和事業について

来年は戦後75周年。平和事業の拡大版として戦争体験を聞く講演会を図書館事業と一緒に開催できないか。市) 教育部と調整し検討を進めたい。教育) 事業趣旨を踏まえ協議、検討する。

4. 認知症対策について

意欲ある認知症サポーターの活躍できる仕組み作りが「チームオレンジ」に必要なが、市の考えは。市) ステップアップ講座の効果的な開催や活躍の場のコーディネート等の充実を図る。

免疫消失に伴うワクチン再接種への助成を！

ワクチンの再接種助成について

だて) 小児がんなどで骨髄移植等の治療をうけると、これまでの予防接種効果が失われてしまうケースがある。その際のワクチン再接種は自費となり、20~30万円という大きな経済負担が伴う。一部の自治体で行われているような再接種助成制度を当市でも検討できないか。

市) 多摩地区では稲城市と町田市が行っている。当市でも国や都の動向を注視し、検討する。

自転車保険の義務化について

だて) 東京都の条例が改正され、来年4月から自転車保険が義務化となる。自転車事故の抑制や、万が一に備え重要である。市の取組みは。

市) 市報やホームページ等での周知に努めるとともに、学校への情報提供や加入率向上への啓発を行っていく。市の業務に関する自転車の利用はすでに保険の適用対象となっている。

だて) 月額100円程度から入れる保険もある。まずは義務化について、広く周知を求める。

障がい者就労施設からの物品調達推進を！

だて) 法律に基づき当市でも方針を策定し、障がい者就労施設からの物品等の調達を進めているが、ここ数年は金額的に横ばいの状況である。就労を基軸とする障がい者の自立促進のためにも、より積極的な取組みを求める。

市) 市役所内の全課での実績を目標に来年度方

国分寺政策市民フォーラム
だて 淳一郎



針を設定した。発注促進へのマニュアル作成や趣旨の理解浸透を図り、調達の拡大に努める。

だて) お仕事ネットワークとの連携強化も求む。

可燃ごみ収集ルート変更と安全対策について

だて) 新可燃ごみ処理施設への搬入開始に伴い、可燃ごみ収集のルート変更が行われる。今まで収集車が通らなかった時間帯、経路を通行することも予想され、子どもたちの下校時間とも重なる可能性もある。万全の安全対策を求める。市) 収集委託事業者には子どもたちへの安全対策を含め、改めて注意喚起を行う。

令和2年度に向け更なる課題解決を

◆ペットボトルの戸別収集について◆

本橋) 先般の建設環境委員会において令和2年4月よりペットボトル戸別収集開始との報告があったが方針に変わりはないか。市) 庁内調整の結果一旦延期させていただく。本橋) 延期とのことだが令和2年度中、特に夏の前に戸別収集をやるべきだと思うがどうか。市) 令和2年度中の開始に向け調整していく。

◆ベトナム国との国際交流について◆

本橋) 2020東京パラリンピック大会にベトナムの水泳選手団をホストタウンでお迎えすること基本合意書が結ばれ、成功に向け取り組みをお願いしたいのと同時に、これを契機に多

文化共生の観点からベトナム国との交流を密にして頂きたいと考えるがどうか。市) ホストタウンとして成功に向け全力を尽くし、その後の交流に向けた取り組みもしていく。

◆認知症対策と補聴器◆

本橋) 加齢による難聴により認知症リスクが高まるといった調査もある。介護認定を受ける前の段階で補聴器購入に際して補助金を創設して頂きたい。すでに23区の中で導入されているところもあるが見解を問う。市) 他の自治体の事例も含め事例について研究していきたい。

◆まちづくり条例の改正について◆

本橋) 建築基準法よりも厳しい条例の規制によ

自由民主党市議団
本橋 たくみ



り農家の方々によっては相続の際により多くの農地を売却せざるを得ない実態があり、農地を保全していく立場から条例規制を緩和して頂きたいがどうか。市) 課題を抽出し、規制緩和についても検討し、関係団体とも調整していく。

◆恋ヶ窪駅周辺のまちづくりについて◆

本橋) 市役所移転の後、恋ヶ窪駅周辺地域全体が市役所があった時よりも賑わいや活力を持てるまちづくりを西武鉄道にもご協力いただき進めて頂きたい。市) 西武鉄道、民間開発業者とも連携し発展に向けた取り組みを加速していく。

安心・安全・快適なまちづくり

国分寺駅南口への取り組みについて

駅周辺の土日、祝日、雨天など駅ビル駐車場の入出庫、送迎での渋滞が目立つ。渋滞対策、交通安全対策が必要。認識と対応について伺う。市) 交通の支障は認識している。管理会社への対応や小金井警察の指導などお願いしていく。

七重塔の南口移設の進捗について

商工会館にある七重塔の複製を移設するが、進捗、安全対策について伺う。

市) 移設箇所についてJ Rと協議を進めている。また、鑑賞に支障無い外観と耐震耐火、暴風等の安全対策を第一に来年度を目処に進める。

国分寺駅南口の環境整備について

昨年の台風で破損したタクシー乗り場の屋根、植栽の手入れ、鳥の糞対策、交番東側の植え込みからの飛び出しなど問題について伺う。

市) 北口の完成も間近で南口に注目が集まる。拠点整備として検討が必要である。課題解決、駅前広場の活用など考えていきたい。将来的に南口のあり方をJ Rと協議していきたい。

台風被害の経験を活かす取り組みについて

(1) 地域防災計画の見直しについて

震災対応に重点が置かれた防災計画に土砂災害警戒区域への対応を改めて見直す必要がある。

市) 気象庁の発表にとどまらず、各地域様々な状況もあると認識し対応して参りたい。防災計

自由民主党市議団
尾作 義明



画は運用としてあるべき形を検討して参りたい。

(2) 防災ハザードマップの更新について

全戸配布の防災ハザードマップは5年で更新されるがデータの更新と公開は速やかに行うべき。

市) 必要な情報に関してはホームページ等で情報入手ができる様、速やかに対応して参りたい。

外国人と共生する地域づくりについて

市の人口2%が外国人と増加している。市民とのトラブルを防ぐためにもコミュニケーションが必要。阪神淡路大震災の教訓からはじまった「やさしい日本語」の普及と対応を求める。

安心・安全な暮らしとまちの魅力の発信

1. 高齢者対策について (見守りについて)

問) 近年、一人暮らしの高齢者の数は高齢者人口の20%に上ると言われている。少しでも孤立死・孤独死の可能性を無くし市民が安心して暮らせるよう、見守り体制の充実を図る必要があると考える。民間企業では水道使用の有無で見守りが出来るシステムを開発し提供しているものがある。これは水道メーターに機器を取り付け、見守り対象者が朝一番で水を使用した時や長時間使用した時、また長時間使用しなかった時に離れて暮らす親族や協力頂ける方々にメールで無事や異常をお知らせするシステムである。大きな特徴としては、いつも見られている

・気にされているというストレスをかけない点と見守る側にも大きな負担が掛かることなく普段通りの生活を送れる点である。見守り体制の充実が大変有効であると考えが如何か。

福祉部長) 市では緊急通報システムや地域包括支援センターによる見守りのネットワークづくり等に力を入れており、来年度は新たな高齢者保健福祉計画の策定作業を進めていく。民間サービスの活用には慎重な対応が必要であることも踏まえて更に研究を進めて参りたい。

2. まちの魅力発信について

問) 60年前、多くの劇作家達がこの国分寺に集まり制作活動をされており、劇画工房なる

自由民主党市議団
田中 政義



ものも結成されていた。漫画の1ジャンルとして劇画が発展していく初期の段階を国分寺で過ごされており、「劇画揺籃の地」と言えるのではないかと考える。市の魅力の1つとして発信してみても如何か。

政策部長) 現在も当市は新たな魅力の発信・発信に努めているところであるが、正確かつ一定程度詳細な情報を調べる必要があると考える。まずは受け止め、今後の仕掛けを検討したい。

その他) 高齢者の抱える問題、ぶんバス北町ルート、武道の授業、災害対策について質問した。

避難勧告、避難所、帰宅困難者対策の充実を

新海) 台風19号の際に初めての避難勧告が発令された。本多連合町会では、避難所となっている三小において本多からの避難者が何名いるか尋ねたところ、市の担当から個人情報なので教えられないとの返答があった。市では災害の時に避難者の情報を出さないのでしょうか。

総務部長) 今回は一時的な避難所としていたので名簿は作っておりませんでした。個人情報なのでという回答は正確ではありませんでした。

新海) 今回の避難勧告は訓練ではない。一時的な避難所であっても被災者がでた場合のことを想定した万全な体制でのぞんでもらいたい。

総務部長) まさに本番の避難所ということで、

避難者の安全、安心に向けて情報の扱いについても、しっかりと考え方を整理してまいります。

新海) 避難所として二中、七小が入っているがどちらも低い場所で水害の時は適さないが。

総務部長) 二中体育館は傾斜地の上に、七小体育館は2階なので高さは確保できている。それでも今後想定外の状況も視野に対策を進める。

新海) 市としては東日本大震災の時に発生した帰宅困難者のための避難所の設置に取り組んだ経験があるが、もし市内避難者と帰宅困難者が同じ避難所に集中した場合の対応は。

総務部長) 国分寺市内では赤十字奉仕団が窪東公園に災害時帰宅支援ステーションを設置し、

自由民主党市議団
新海 栄一



飲料水やトイレ、テレビなど情報の提供を行うことになっているのでそちらに案内をする予定。

新海) 国分寺駅北口の再開発が完成した。地域防災計画では駅前滞留者対策協議会を設置することになっているが現状は。

総務部長) 駅前滞留者対策協議会がマニュアル等に従って、駅前の混乱防止のための活動を行うことになっている。協議会立ち上げの準備会を平成30年度に警察、消防、J Rと市の関係部署により開催している。今後、早急に設置に向けての連絡会を開催してまいります。

災害時の情報提供と障がい者支援体制整備を

(1) 避難者への情報提供について

高) この度の台風19号。避難者からは学校等避難所にテレビ、ラジオ等が無く情報を元に予測を立て行動するために設置をとの声。検討を。

市) ケーブルは来ているがテレビ本体がなく都では検討していると聞く。連携して設置したい。

(2) 避難所での障がい者への支援について

高) 視覚や聴覚、内部障害や難病の方等の状況を認識し支援する為4頂点にそれぞれ障がい内容を記したパンダナが有効かと。導入を求める。

市) 援助や配慮を必要としている方々を認識し支援につなげる為に導入に向け検討する。

(3) 聴覚等障がい者の救急車依頼について

高) 音声(肉声)による119番通報が困難な方の為携帯電話のウェブ機能で通報できる東京消防庁緊急ネット通報システムがある。申請方法等関係団体や対象者などへ周知情報提供を。

市) 関係各課から団体や全庁にも徹底する。

(4) 高齢者のフレイル予防健診について

高) 治療への支援前に病気にならない予防に追い風を。とこれまで食育や運動の推進など提案して来た。国が健診項目にフレイルに関する質問を導入するとの発表。市の見解取り組みは。

市) 質問項目から見えて来る課題を健康寿命の延伸に活かす為医師会、関係部署と連携する。

(5) ぶんバス北町ルート乗車人数増へ

高) 座席数が少なく積み残しの現状解消を。又ベビーカーを積載出来ず乗車できない現状を解決し子育て世代の支援を求める。

市) 予備車の出動が80回の現状。道路幅員から車両は限定されるがコムーター型12人乗りを検討している。又ベビーカーの積載は認識しているが乗務員は車道に降車する事となり安全上対応できない。引き続き考えていきたい。

その他①災害時アマチュア無線市民にご協力を。②ロタウィルスの定期接種化開始の情報発信を。③高齢者肺炎球菌ワクチン接種率アップを質問。

公明党
高橋 りょう子



新たな視点と取組みで市政の一段の活性化を

職員研修 民間企業への派遣について

丸山) 今後職員にはゼネラリストとしてより一層の幅広い知見やマネジメント力が求められる。これを実現する上で民間企業への派遣は様々な文化に触れ、多様な経験をすることが出来、非常に効果的な手法と考える。市としての認識と今後の取り組みにつき確認したい。

総務部長) 民間企業派遣は人材育成の手法として大変有効なものとして認識。現在市では市内企業と連携協定等を行っているが、これを足がかりに企業派遣につき継続的に研究して参りたい。

北口ビルにデジタルサイネージ(電子看板)を丸山) 国分寺駅北口のcocobunji WEST 2階

に立体通路・ブリッジが架かっているが、ここにデジタルサイネージを設置出来ないか。同ビル5階のリオンホールでのイベント情報や、市政情報、店舗情報等、皆にとって有益な情報提供の場になる。また仮にCM等が打てれば設置・維持費用を最小化、あるいは持ち出しなしで運用出来ると考える。市の見解はどうか。

市民生活部長) 議員提案の通り、ブリッジ部分でのデジタルサイネージは設置場所として非常に魅力があり、多様な効果を生み出す可能性があるとして認識。設置活用について今後当該場所を管理する管理組合に提言して参りたい。

基金の運用について

丸山) 市では現状基金運用で金額上限を財政調整基金の10%迄とし、運用商品を国債、政府保証債、地方債に限定している。安全性を最優先することに異論はないが、資金のより効率的な運用という観点からすれば、より広い商品、例えば社債等も対象として取り扱えないか。

会計管理者) 東京都は社債を、また他市では金融債を購入している所があることを承知している。現状市として運用指針改正の予定はないが他市に遅れることなく研究検討を進めて参る。

その他 災害対応、空き家対策等につき質問。

自由民主党市議団
丸山 哲平



ペットボトル収集、幼保無償化、事前防災等

◎幼保無償化、待機児童、事業者への支援を

木島) 幼児教育・保育の無償化で対象とならない施設もある。保護者の経済的な負担を軽減するためにも何らかの補助をすべき。

市) 令和2年度の当初予算に反映したい。

木島) 事業者の事務負担軽減と保育士等の人材確保のためにさらなる支援の充実を。

市) 国や他市の状況を踏まえながら対応したい。

木島) 障害児保育の体制をさらに整えるためにも事業者への支援を講じていただきたい。

市) 事業者からの要望に応じていきたい。

◎台風や大雨等への対策(事前防災)について

木島) 住民の命を守り、より早い避難行動等の

判断につなげるため、大雨・洪水警報の発表前に災害対策本部を設置することも検討すべき。

市) 事前に想定される事態を予測し、早めの判断の必要性を感じている。検討したい。

木島) BCP(業務継続計画)の風水害編が未策定だ。災害時にあっても優先的に対応すべき事業などをあらかじめ明確しておくべき。

市) 地域防災計画の見直しと合わせて検討する。

◎街灯・道路照明灯のLED化を推進するために

木島) 計画目標から遅れが生じている。整備を加速化し、かつ、省エネルギーと維持管理費用を削減するため、民間との連携によるESCO(エスコ)事業を活用するべき。

市) 情報を収集し、検討していきたい。

◎ペットボトルの収集に関わる進め方について
木島) 有料化に関して。(関係審議会の)答申と、その後の市の方針に違いがある。理由は?

市) 現在でもかなりの量の資源プラスチックへの混入があるなど、有料化が必要と考えた。

木島) ペットボトルの戸別収集推進は理解するが、有料化については市民への丁寧な説明と理解を得るための努力が必要だ。

市) 議会や市民にさらに意見を伺う機会を持ち、説明していきたい。

公明党
木島 たかし



温暖化やプラスチック減量を市民とともに!

中沢) 担当委員会に報告された「ペットボトルの四月からの戸別収集に伴い、資源プラと合わせて十月から有料化」との方針が、突然変更・延期となった一突然で性急な方針で、消費者・市民にだけ経済的負担を押しつけるやり方ではプラ問題解決に貢献しないと批判してきたので変更は良いが、理由は何か。

市長) 議会への説明が十分でなく、庁議検討し時間を置いた議論と十分な説明をと変更した。

中沢) 本日11/2より気候変動国際会議(COP25)が開かれ、世界5位の温室効果が不排出国の責任は重大である。列島を襲った台風と豪雨の被害も地球温暖化の深刻さだ。一方でプラ

スチックの汚染被害も全世界と地球に。特に海洋プラを、審議会答申も論じているが、問題認識と解決の方向性は一致しているだろうか。

部長) プラスチック含有部分はかなり多い。マイクロプラスチックも体内まで入ってきており発生抑制にとり組まねばと考えている。

中沢) 市民一人当たり一日分の資源プラ排出量は37.5gで多摩の上位4位。これはよく分別しているからと思う。逆に可燃ごみは少ない方から3位ということになり、相関関係にある。

部長) その通りだ。

中沢) 資源プラの処理で1900tが民間事業に依るが、リサイクルと言って熱処理していないか

温暖化ガス排出の削減に貢献しているのか。

部長) 数字についてはわからない。

中沢) ペットボトルは一日一人当たり2.2gで最も少ない。買ったお店に返すとの市民の努力だ。

部長) そう認識しているところだ。

中沢) リサイクルセンターは、市民が地球的な課題に立ち向かう拠点として、知恵も創意も発揮して学習と協働の拠点となるように努力を。

部長) ささまざまな検討は行ってまいります。

他に、戸倉公園の早期開設、恋ヶ窪駐輪場についての改善、要望などで質問しました。

日本共産党国分寺市議団
中沢 正利



学童増設は民間で追いつかないと市が認める

《公立学童の増設に全力をあげるべき》

学童の対象は法律で小6までだが、市では小3まで。高学年の受入れをめざした国基準の達成について、2014年の市議会で井澤市長は5年を目標に「計画的に進めるように大至急検討する」と答弁し、民間学童の誘致を基本方針にした。しかし、その破綻は明らか。来年からの計画に目標を設定できない状況（表参照）。

問）2014年に市民に約束した市長として、この状況をどのようにお考えなのか。

*市長は答弁に立たず

部長答弁）学童のニーズ増に民間の増設が追いついていないが、今後も民間を誘致していく

*民間では追いつかないと認めた。ならば、公立での増設に全力をあげるべき。高学年の受入れを実現する市長の本気度が問われている

《災害対策の強化を》

①風水害を想定した地域防災計画の見直し。②避難所として、小学校も含めた体育館へのエアコン設置、段ボールベッドなどの必要な備蓄品の見直しなど、災害対策の強化を求めた。

《新庁舎基本計画策定は必要な時間をかけて》策定は3月までの予定だが、具体的な検討は進まず、市民参加もこれから。スケジュールありきで進めるべきでない」と求めた。

*その他にも、待機児童の解消を求めた。

日本共産党国分寺市議団
中山 こう



学童保育所 高学年(4~6年生)の定員確保目標

現在の計画	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
高学年	16	16	200	400	628
次期の計画案	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
高学年	4	0	0	0	0

市が提出した資料をもとに作成

教員の働き方、移動の支援、難聴支援等

＜小中学校教員の働き方について＞

岡部：根本問題は教員の人数を増やすことでは。

答弁：定数は都が決める。定数増を図ってほしいので、都や国にも引き続き申し入れる。

岡部：国が学校現場に変形労働時間制を導入しようとしている。夏休み等にまとめて休みを取る代わりに平常時には定時を延ばすというもの。市として夏休み中の勤務実態を把握すべき。

答弁：今後のあり方の参考とさせていただきます。

＜児童・生徒のオリ・パラの観戦について＞

岡部：観戦計画の概要は。

答弁：各学校の希望を調査した。公立小中学校15校全校、全学年で観戦に行く予定。

岡部：児童生徒が一律に行くとなったらどれだけ意義があるのか。受験勉強や部活動に時間を割きたいという児童生徒もいる。一律ではなく希望する児童生徒が行くという形にすべき。

答弁：一律に行かせるという話ではない。そういう機会・場を確保したいという思いだ。

＜ぶんバスに留まらない住民の移動の支援を＞

岡部：内藤は行政サービスが届きにくい地域で、特に高齢者にその問題が顕在化している。移動の支援の要望を持っている住民の方と対話の機会を持ったりアンケート調査を行う必要があるのでは。

答弁：今でも地域の方々のお声は聞いていると

日本共産党国分寺市議団
岡部 宏章



ところで、引き続きお話ししていきたい。アンケートの実施については研究させて頂く。

＜難聴支援について＞

岡部：コミュニケーション障害を取り除く上で補聴器の普及が待たれている。しかし、価格が高かったり、購入後も調整や慣れるためのトレーニングが必要であるなどハードルが高い。国分寺市でもぜひ補助制度を考えて頂きたい。

答弁：相当な予算を伴うことになる。現時点での実施は難しい。

※他、保育園の給食費について質問しました。

戸倉公園の早期整備を／障がい児保育の拡充

☆「戸倉公園」の1日でも早い実現に向けて

星）戸倉公園の範囲を示す「網かけ」は、昭和37年に建設省が決めたもの。江戸時代からある神社までもが範囲に含まれている。仮に、寺社を範囲から除外する場合、その面積分の代替地の「網かけ」が必要とされる。それでは公園の実現までに更に時間を要する。「網かけ」面積縮小の許可など、「範囲を決定した国に協力を求めるべき」との要望をお受けした。

市）網かけ範囲内のそうした課題は他市も抱えているため、東京都及び市区町で公園緑地計画を見直す判断基準の整理を議論している。来年度初めに結論が出るので、これを受けて本市も

見直しの整理を行っていく。

☆「先行取得地」を子どもたちの遊び場に

星）国分寺市土地開発公社が、将来の戸倉公園の一部として先行取得した用地は立入禁止の「空き地」になっている。ここを「広場」として暫定的に子どもたちに使わせていただきたい。

市）公園を目的に土地開発公社が購入した土地を同じ目的で暫定的に利用してしまうと、その部分が補助金の対象外とされてしまうことから、非常に難しいと考える。

星）その答弁を地域のみなさんと相談したいので、補助金に関する根拠資料を求める。

☆障がい児保育への人件費補助金の拡充を

国分寺政策市民フォーラム
星 いつろう



星）「全保育所で障がい児保育の実施を」との要望を会派でお受けした。そのために障がい児保育への「補助金の見直し」を求める。なぜなら、障がい児を複数人受け入れている保育所では、その保育にあたる加配の常勤保育士人件費と公的補助金が見合わず、これ以上の受け入れが難しくなっているとの声をお聞きしたから。

市）障がい児対応の保育士を採用するものの、対象児童が途中で退園した場合の当該保育士の雇用継続といった課題は把握している。補助のあり方の検討は必要であると考えている。

子どもたちの心身を育む食の安全を！

◆「学校給食食材選定基準」は「遺伝子組み換え食品ではないこと」など、安全な食材を納入するための注意事項が細かく定められているが、新たな「ゲノム編集食品」は安全性に懸念がある。表示義務がなく課題だが、給食に使わない対策を！⇒栄養士会等で情報共有、勉強会等行いながら納入業者にも伝えていく◆公設学童保育所の三季休業中の昼食について、給食や弁当を望む声が多いが課題は？⇒外注の場合、発注や金銭の受け渡し等の事務に係る負担が課題（問）市内には、地場野菜を使った弁当やパンの供給、配送に取り組む団体が複数ある。学童職員の負担にならない方法で、昼食の提供ができないか

相談してはどうか。また、給食の試行的な実施についても調査を求める⇒関係団体や教育委員会との調整が必要だが可能性を探ってみる。調達の仕方や事務負担の少ない手法を他市の事例など研究しながら考えたい◆ペットボトルの戸別収集開始と同時に拠点収集は廃止し、有料化は収集の状況や経費など全てを明らかにし市民と十分に検討すべき⇒説明会等を実施し、ご意見を伺っていく◆台風19号の経験から、雨風が強くなる前の早めの避難所開設の検討を求める⇒自主避難所の選定、開設の基準、開設時間、避難開始時間等を速やかに検討する（問）国分寺高校は避難所開設できなかった。高校との連

無会派(国分寺・生活者ネットワーク)
高瀬 かおる



携体制や学校管理運営班がどのように組織されているのか等、再確認を求める。都立であるがゆえに意識的に協議や交流の場を持つ必要がある⇒平常時からの顔の見える関係づくりに向けて、地域の方々と高校との連携も模索する。

◆ひとり親家庭への支援として、民間団体の取り組みを積極的に調査し、対象者に的確に情報提供するように求める。学校入学時に準備費用としてお祝い金を出す団体もある⇒民間の支援事業に関する情報収集に努め、これらの情報を適切かつ効果的にお知らせできるよう検討する。

共生社会 安心して自分らしく暮らせるまち

無会派(国分寺・生活者ネットワーク)
岩永 康代



■多文化共生社会への対応と外国にルーツのある子どもの支援 ■岩永市内でも外国人人口が増えている。文科省が昨年外国人の子どもの就学状況調査を行った。市の現状は？**答**94人中市立学校への就学が53人。41人が私立・国公立・外国人学校に就学、出国その他**岩永子どもの学ぶ権利を保障する**点からも、全員の把握と転入時の就学情報提供の徹底を**答**マニュアルに位置づけて丁寧に対応する**岩永**外国人市民の実態を把握し、多文化共生施策の推進を。オリパラやベトナムとの交流等、国際協会の事務局負担も増えている。運営継続のための支援を要望する。
■障がい者施策 ■岩永24時間体制の相談と緊急

時の受入対応について、地域生活支援拠点の今後の取り組みは？**答**夜間を含む相談体制の充実には障がいのある方の地域生活を支える上で重要と認識し、相談の充実や緊急対応に備え訪問面談等を行ってきた。基幹相談支援センターの機能を更に高め、新たな拠点機能の担い手としてサービス事業所間のネットワーク化を進める。
■成年後見制度 ■岩永成年後見制度利用促進計画策定にあたり、関係機関からのヒアリングやNPO等と連携したニーズ把握が必要。費用助成制度や法人後見、総合的な権利擁護機関の設置等、地域の実態に即した施策の位置付けを。
答地域のNPOとも連携しながら進めていく。

■特別支援教育の支援員 ■岩永配置についての検討状況は？**答**クラスアシスタントや介助員募集時に東京学芸大学3市連携講座との連携を進めている**岩永**インクルーシブ教育の理念に基づき学校全体で子どもを支える体制が必要。支援員の研修と保護者の声を丁寧に聞く場を求め。
◆農業等の使用について、道路脇の草等に使用されている除草剤の成分調査と、発がん性の疑いのあるグリホサートや子どもの脳の発達への影響が指摘されるネオニコチノイド系農薬等を市有地で使わない方針・市民への啓発を求めた。

政策決定過程は市民に明らかにするべきだ！

国分寺政策市民フォーラム
及川 妙子



1. ペットボトルの戸別収集について=○延伸になったが10月からのプラも含めた有料化はどこで決まったのか？⇒審議会の答申後、行革本部で意見を伺い庁内調整して決定した。○どこで決まったのかははっきりわからない不透明な進め方はよくない。
2. 児童発達支援事業について=○市として子どもを育てていく方向性を明確にしてほしいと事業者から要望された。⇒児童発達支援ガイドラインに沿って対応していく。○移行支援も含め可能な限り地域の保育、教育等の支援を受けられるようにしていくこととともに同世代の子どもとの仲間づくりを図ってほしい。○民間の

事業所からは相談窓口がわかりにくいという保護者が多いと聞いたので適切に対応してほしい。
3. 児童手当について=○現在保育料と学童クラブ費の滞納分について特別徴収しているが、普通の保育料の引き落としはできないのか？⇒保育料は幅があるため天引きは難しい。
4. 台風19号について=○防災推進地区など市民の協力体制を検討してほしい。○初動が遅いので迅速な対応をしてほしい。○全体の総括をやってほしい⇒年内に振り返りの場を実施する。○その際は学校からの意見も聞いてほしい。
5. 障がい者の緊急時の対応について=夜間、緊急時に市役所のキャビネにある本人の情報を

確認する作業は、緊急カードなどを本人が所持することで時間短縮できるのではないかと緊急時なので迅速な対応を工夫してほしい。
6. 都知事との懇談について=冒頭、都知事から泉町の所有地の売却については昨日(10/16)方針を決定したと言っていたが、議会の議決の前に既に売却が決まっているのか？⇒市長：10年以上前から都にお願いしてきて知事から直接返事をもらえたということ。○都民ホール、警察病院の跡地利用(老健、警察署、ドッグラン)について市の要望が実現すること期待する。

市民に寄り添う行政を

国分寺政策市民フォーラム
はせべ 豊子



◆環境に優しい取り組み 問)有価物地域回収活動の状況は。市)30年度団体数180団体(前年比+10団体)回収量2764トン(前年比+107トン)集団回収事業は、地域コミュニティーの強化、収集費の削減も見込まれる等、事業推進の啓発を強化する。問)家庭廃棄物指定収集袋の提案。可燃ごみ袋は、バイオマス13%。配合の%を上げることにより、二酸化炭素(CO2)の削減になる。市)課題整理をして、検討をしたい。問)食品ロスの削減の推進について、生ごみたい肥化事業の取り組みは。市)燃やせるゴミの約3割が生ごみ。昨年度、市内3か所で実施し生ごみ個人登録実績は、22トン。今年7月より本多

公民館も開始。場所の追加も検討したい。
◆高齢者福祉施策 問)地域密着型サービスの現状は。市)今後もニーズが高まっていくと考えられる。第8期介護保険計画の策定において利用状況の分析をし、整備方針について検討をしていく。問)市の地域医療計画作成については。市)医療に特化した計画ではなく、総合化した計画によって取り組みを推進している。
◆障がい者福祉施策 問)市内13名登録のペアレント・メンター派遣事業についての取り組みは。市)29年度から東京都が実施した事業。今後、保育園や幼稚園、教育機関などに対してもペアレント・メンターを活用しての事業の周知

を行う。問)障がい者の就労について市の雇用の現状は。市)市職員の障がい者雇用率は2.5%。障がい者の採用に限定した採用は実施していない。障がいのある方の雇用拡大に向けて研究をしていきたい。問)今後の新庁舎や公共施設再配置での障がい者就労の場の確保についての考えは。市)障がい者の方が就労できる環境について、多様な視点での可能性を模索したい。◆他、民俗資料館の管理と活用を老人クラブ等地域団体へ。生きがいセンターほんだの活用を要望した。

西町三丁目交差点の改良 キャッシュレス対応

自由民主党市議団
尾澤 しゅう



【西町三丁目交差点の改良工事の今後】
尾澤：これまで当該交差点の東側は地権者さんの御厚意によって一部を歩行空間として開放していただいております。交差点改良工事中であっても、安全配慮の観点から用地取得済の箇所については今後も歩行空間を確保しながら工事を行っていただくことを求めます。
答弁：地権者さんの御厚意により、これまで幅約1メートル程度の歩行空間を開放していただいております。今回はその部分も含めて用地取得を致しました。工事中もより安全に進めていくために工事の作業帯を調整して少しでも歩行者の通行空間を確保できるように努めます。

尾澤：今後の予定と工事の進行による交通規制等がいつから始まるのか教えて下さい。また、工事にあたっては、できる限り日中の交通規制が発生しないように進めて頂くことを求めます。
答弁：来年度から雨水排水やガス、N T T等のライフラインの移設工事を交差点の西側から取りかかる予定です。工事の際は、一部片側交互通行をする等の交通規制を伴う可能性がございます。工事については、事前にお知らせをして混乱を招かないよう配慮をして進めていくよう心がけてまいります。
【市のキャッシュレス決済への対応は？】
尾澤：市民の利便性の向上と職員の業務効率化

の観点から、各自治体でキャッシュレス決済に対応していく動きが始まっている。本市でも検討、導入を行っていきべきだと考える。
答弁：本年、他市では鉄道やコンビニエンス店等で電子マネーが普及したことを踏まえ、市民の利便性向上のために、少額な課税証明書の交付手数料、あるいは施設使用料に複数種類の電子マネーで決済が行えるという様な先行事例を確認しています。当市におきましても、他団体の導入状況や利用者のニーズを把握し、適切に対応できるように検討を進めてまいります。

戸別収集実施でペットボトル混入是正を！

木村＝ペットボトルの回収について、平成29年度で85トンとあり、他市に比較して大幅に少ない数字だが、一方で資源プラスチックへのペットの混入は約139トンにも上る。この数字は市の文書では一切出て来ないが間違いないか。

部長＝混入は139トンである。

木村＝実態は計224トンで、多くが混入物扱いだ。混入を防ぐために、仮に有料にするにしても料金差をつけて、戸別収集を検討すべきだ。

部長＝段階的な料金設定という考えは非常に参考になる。今後審議会に提案していく。

木村＝庁舎建設の財政見直しについて、138億円という金額のみを示す現状は不十分だ。

部長＝できる限り最小限の経費で進めていく考えである。今後精査をして示していく。

木村＝お金をかけて豪華なもの・余分なものを作らないよう厳しくチェックするが、まず床面積の算出の在り方を見直すべきだ。併せて後年度負担の適正化へ基金の積み増しも行うべきだ。

部長＝執務室の机の配置等を工夫するなど、面積の低減を図っていく。

市長＝市役所は防災拠点としての位置づけがあることも考慮に入れて考える。基金は建設コストの2分の1を満たせるよう積み増していく。

木村＝災害時の安全対策で、停電時も消えない信号機の増設を交通管理者に強く求めるべきだ。

無会派
木村 いさお 徳



併せて歩車分離信号も引き続き増設すべきだ。
部長＝現状、電源付加装置付き信号機は市内に3か所のみ、歩車分離信号は5か所のみだ。関係部署と連携を取り、増設の声を上げていく。
木村＝国分寺市はオリ・パラでベトナムのホストタウンだが、訪日客増加率は世界1位の状況だ。継続的な呼び込み策として、ベトナム語の案内板や店舗での表示等を充実させるべきだ。
部長＝まずは市ホームページ等から始め、商工会や国際協会と連携を図りながらメニュー表示などが可能か協議を進める。

令和元年 第4回定例会 陳情の審議結果について

陳情番号	件名	付託先委員会	結果
陳情第元-3号	おたかの道湧水園にある長屋門の活用推進についての陳情	厚生文教	継続
陳情第元-4号	小中学校体育館にエアコン設置を求める陳情	厚生文教	継続
陳情第元-8号	西国分寺駅東口の早期設置と日影山西側に恋ヶ窪側乗降口の設置を伴う南北自由通路の整備を求める陳情	建設環境	継続

次回の定例会
開催予定について

どなたでも傍聴できます

令和2年第1回定例会は、

2月21日

(金) 開会予定です。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。



「日曜議会」を開催します

身近な、開かれた議会を目指します

平日に議会の傍聴に来られない市民の方が議会の傍聴していただけるよう日曜日に本会議を開催します。

多くの市民の皆様のご来場をお待ちしております。

日時：2月23日(日) 午前9時30分～

場所：市役所第1庁舎3階 議場

内容：市長の施政方針に対する代表質問

なお、市長の施政方針は、2月21日(金) 午前9時30分から予定しています。

閉会中の委員会等

どなたでも傍聴できます

第4回定例会終了後、令和2年第1回定例会までの間に開催する委員会等は次のとおりです。

1月17日(金) 議会運営委員会
1月21日(火) 厚生文教委員会
1月22日(水) 建設環境委員会
1月28日(火) 総務委員会
2月5日(水) 公共施設等総合管理特別委員会
2月12日(水) 国分寺駅周辺整備特別委員会
2月19日(水) 代表者会議
議会運営委員会

市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開始予定です(2月5日は午後1時30分から)。詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。

障害者等への
合理的配慮について

どなたでも傍聴できます

聴覚などに障害のある方のため、市議会を傍聴する際に、手話通訳者または要約筆記者を派遣します。事前に予約が必要で、費用は無料です。

また、盲導犬、聴導犬、介助犬と一緒に傍聴も可能です。

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

インターネット
動画配信について

どなたでも視聴できます

令和元年第4回定例会の本会議で行われた一般質問と議案審議の様子が市議会のホームページから2月29日(土)までご覧いただけます。

また、次回令和2年第1回定例会の代表質問と議案審議のライブ中継・録画配信及び予算特別委員会の録画配信を行います。ぜひご覧ください。

請願・陳情の
提出について

どなたでも提出できます

市民の皆様への行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、令和2年第1回定例会(2月21日(金)開会予定)からの審議を希望する方は、2月3日(月)までに直接議会事務局へお持ちください。

本会議録・委員会
記録について

どなたでも閲覧できます

令和元年第4回定例会の本会議録(全文掲載)は3月1日(日)より市議会ホームページで閲覧できます。

また、本会議録は平成元年、委員会記録は平成17年以降の記録から閲覧できます。

上記の詳細は、次の方法で知ることができます。

● 国分寺市議会ホームページ

<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shigikai>

国分寺市議会

検索

● QRコード

スマートフォン等で読み取るとサイトにアクセス



市議会ホームページ



動画配信ページ

● 議会事務局への問い合わせ ☎(042)325-0111 (代表) FAX(042)327-1426

【定例会・委員会について、インターネット動画配信について (議事担当)内線468】 【請願・陳情について (調査担当)内線581】
【障害者等への合理的配慮について (総務担当)内線467】

第4回定例会議案審議結果

第4回定例会には新規26件(市長提出24件、委員会提出2件)の議案が提出され、可決23件、承認2件、同意1件となりました。

議案番号	議案名	議案の要旨	付託先委員会	結果
第86号	専決処分について	平成31年度国分寺市一般会計補正予算(第5号)について、平成31年度国分寺市国民健康保険特別会計の国民健康保険税の歳出還付予算に不足が生じたことから、その財源として繰出しする必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。	補正予算	全員賛成・承認
第87号	//	平成31年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について、国民健康保険税の歳出還付予算に不足が生じたことから補正を行う必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。	厚生文教	全員賛成・承認
第88号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	国分寺市固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、松原拓郎氏を再任する。	—	全員賛成・同意
第89号	国分寺市役所位置変更に関する条例について	市役所の位置を変更する。	庁舎移転	3分の2以上の賛成・可決
第90号	国分寺市体育施設条例の一部を改正する条例について	国分寺市民西元町ゲートボール場を廃止する。	総務	全員賛成・可決
第91号	国分寺市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	災害弔慰金の支給等に関する法律等の改正に伴い、災害援護資金に関する規定を整備する。	厚生文教	全員賛成・可決
第92号	国分寺市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	国分寺市国民健康保険条例について、国民健康保険税の基礎課税額の課税限度額を改める。	//	全員賛成・可決
第93号	国分寺市下水道条例の一部を改正する条例について	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、指定工事店の指定基準等の規定を改める。	建設環境	全員賛成・可決
第94号	国分寺市プレーステーション条例の一部を改正する条例について	国分寺市プレーステーションを移転する。	厚生文教	全員賛成・可決
第95号	平成31年度国分寺市一般会計補正予算(第6号)	歳入歳出予算の総額に865万2千円を増額し、歳入歳出それぞれ483億9,663万8千円とする。	補正予算	全員賛成・可決
第96号	// (第7号)	歳入歳出予算の総額に2,069万7千円を増額し、歳入歳出それぞれ484億1,733万5千円とする。	//	全員賛成・可決
第97号	平成31年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額から117万5千円を減額し、歳入歳出それぞれ14億6,844万4千円とする。	国分寺駅	全員賛成・可決
第98号	平成31年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額に715万3千円を増額し、歳入歳出それぞれ110億6,386万1千円とする。	厚生文教	全員賛成・可決
第99号	// 介護保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額に2,454万1千円を増額し、歳入歳出それぞれ90億8,494万3千円とする。	//	全員賛成・可決
第100号	// 下水道事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額から443万3千円を減額し、歳入歳出それぞれ27億3,909万8千円とする。	建設環境	全員賛成・可決
第101号	立川市道路線の認定の承諾について	立川市が都市計画道路事業を進めるため、立川市長が国分寺市の区域を立川市道路線として認定することについて承諾する。	//	全員賛成・可決
第102号	市道路線の一部廃止について	東恋ヶ窪六丁目地内の道路について、公共の用に供しておらず、将来にわたり存置する必要がないと認められるため、市道路線の一部を廃止する。	//	全員賛成・可決
第103号	指定管理者の指定について	国分寺市プレーステーションの管理運営に関する業務を、令和2年4月1日から令和5年3月31日まで「特定非営利活動法人冒険遊び場の会」に行わせる。	厚生文教	全員賛成・可決
第104号	東京都四市競艇事業組合規約の一部を改正する規約について	東京都四市競艇事業組合事業に、地方公営企業法の規定の一部を適用する。	総務	全員賛成・可決
第105号	動産の買入れについて	国分寺市消防団第一及び第五分団の消防ポンプ車2台を買い替える。	//	全員賛成・可決
第106号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	東京都に準じて勤勉手当の支給割合を改定する。	//	全員賛成・可決
第107号	国分寺市特別職の職員の常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例について	市長、副市長及び教育長の期末手当の支給割合を改定する。	//	賛成多数・可決
第108号	平成31年度国分寺市一般会計補正予算(第8号)	歳入歳出予算の総額に1,539万2千円を増額し、歳入歳出それぞれ484億3,272万7千円とする。	補正予算	賛成多数・可決
第109号	工事請負契約の一部変更について	けやき運動場人工芝化及びバリアフリー化等改修工事について、金額及び工期を変更する。	総務	全員賛成・可決
委員会提出議案第3号	国分寺市政治倫理条例の一部を改正する条例について	地方公務員法等の改正等に伴い、文言を整理する。	—	全員賛成・可決
委員会提出議案第4号	庁舎移転に関する特別委員会の廃止について	庁舎の移転に関し調査を終了したため、特別委員会を廃止する。	—	全員賛成・可決

—=本会議即決、国分寺駅=国分寺駅周辺整備特別、補正予算=補正予算審査特別、庁舎移転=庁舎移転に関する特別

議案に対する議員の表決状況(賛否の分かれたもの)

議案名	議員名	自由民主党市議団														フォーラム		公明党		共産党		ネット		無
		小坂みちよ	吉田りゅうじ	丸山哲平	田中政義	尾作義明	新海栄一	尾澤しゅう	本橋たくみ	だて淳一郎	はせべ豊子	及川妙子	星いつろう	皆川りうこ	さの久美子	高橋りょう子	木島たかし	中沢正利	岡部宏章	中山ごう	岩永康代	高瀬かおる	木村徳	
議案第89号 国分寺市役所位置変更に関する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号 国分寺市特別職の職員の常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号 平成31年度国分寺市一般会計補正予算(第8号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

・表決 (○=賛成 ●=反対) ※特別多数議決のため議長も表決権を有する
 ・会派名 (フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=無会派(国分寺・生活者ネットワーク)、無=無会派)